



とのしよ

No.48

contents

- 町議会の動き(3月定例会) … 2～3P
- 常任委員会の活動 …… 4～5P
- 特別委員会の活動・表彰 …… 6～7P
- 一般質問 …… 8～11P
- 町議会の動き(4月臨時会) … 12～14P
- 編集後記ほか …… 14P



平成24年
5月5日発行 / 第48号



主役は8人の1年生（四海小学校入学式）

平成24年度当初予算

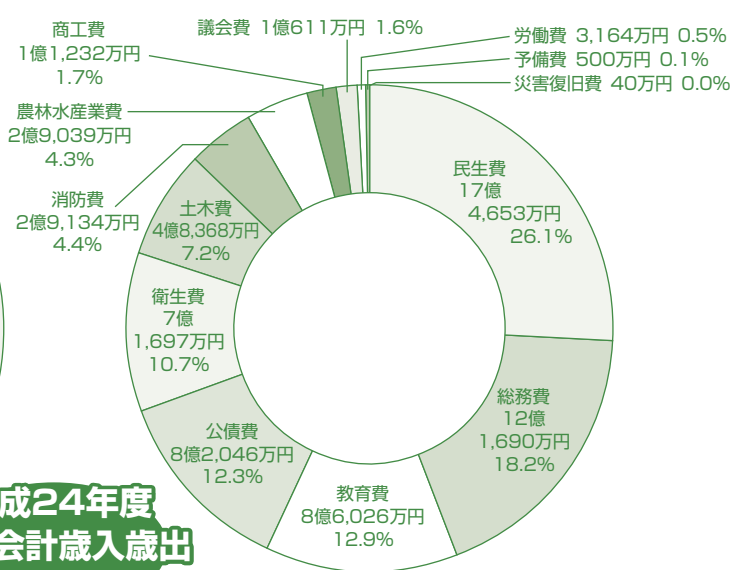
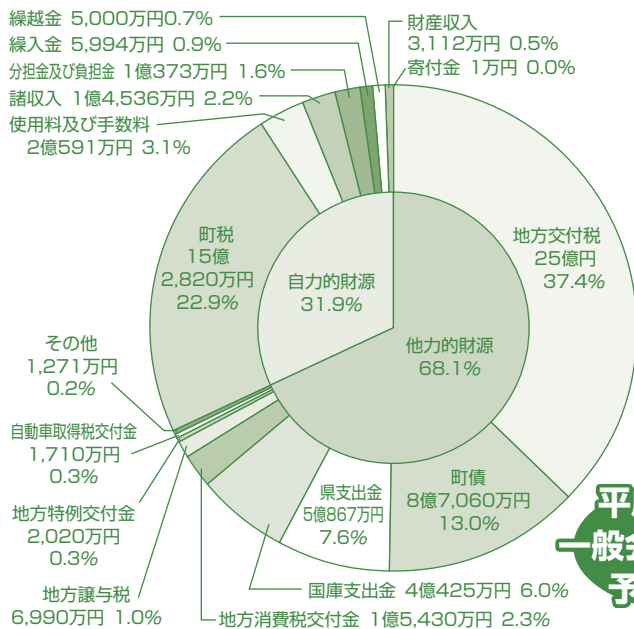
総額 139億7,058万円 **可決**

(平成23年度 130億750万円)

平成24年3月定例会は、3月5日から23日までの17日間の会期で開かれ、最初に町長の平成24年度施政方針大綱の説明があり、平成23年度補正予算7件、平成24年度当初予算12件、条例関係17件、人事案件1件、その他3件、議員提案1件を審議し、閉会中の委員会付託を可決して閉会しました。

◆平成24年度一般会計予算………66億8,200万円 (H23年度65億8,000万円)

- 主な事業
- 超高速ブロードバンド整備促進事業
 - 小学校建設事業・大部幼稚園改築事業
 - 港整備交付金事業(唐櫃・田井漁港)
 - 瀬戸内国際芸術祭に伴う緊急雇用事業



平成24年度
一般会計歳入歳出
予算内訳表

歳入 合計：66億8,200万円

歳出 合計：66億8,200万円

◆平成24年度特別会計予算………41億9,608万円 (H23年度39億9,450万円)

◆平成24年度企業会計予算………30億9,250万円 (H23年度24億3,300万円)

《平成23年度補正予算》

一般会計補正予算(第10号)【△1億163万7千円】
国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)【6,618万4千円増】
大鐸財産区事業特別会計予算(第1号)【99万円増】
介護保険事業特別会計補正予算(第5号)【6,396万2千円増】
福祉サービス事業特別会計補正予算(第2号)【202万7千円増】
後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)【△230万円】
病院事業会計補正予算(第3号)【335万4千円増】

《平成24年度特別会計・企業会計予算》

会計名	H24年度当初予算額
簡易水道事業	2,440万8千円
国民健康保険事業	20億1,343万円
港湾整備事業	1億4,139万5千円
宅地造成事業	9,557万8千円
大鐸財産区事業	1,009万1千円
農業集落排水事業	2,327万円
介護保険事業	15億3,811万1千円
福祉サービス事業	1億1,135万円
後期高齢者医療事業	2億3,843万9千円
水道事業会計	7億5,448万1千円
病院事業会計	23億3,802万4千円

施政方針に対する質問

川本議員

瀬戸内国際芸術祭

- ① 小豆島町との連携は。
- ② 芸術祭実行委員会と、どの程度協議をしているのか。
- ③ 中心となる場所は。

小豆島オリーブ牛

- ① オリーブ牛が特産だと、すぐ分かるような周知物、PR活動、看板広告が必要になってくると思うが。
- ② 瀬戸内国際芸術祭に伴い、どのようなPR活動を考えているのか。

泊議員

廃油の再処理扱いを今後どう取り組むのか。

山本議員

石の歴史遺産の検証を（公共施設にある石など、歴史的な検証をするシステムをつくってはどうか。）

福本議員

「地域包括ケアシステム」を導入するとしているが、指摘されている問題「要支援1・2の人が介護保険を使えなくなる可能性がある」、「特定業者に地域全体を委ねる事を可能にする」、「痰吸引等の医療行為を介護職員にさせる事を可能にする。」について認識しているか。

三枝議員

- ① 迷路のまちに芸術祭の作品を、また、新しい作品はどのくらいか。豊島航路は芸術祭開催期間、どう対応するのか。
- ② 太陽光発電に助成は。
- ③ 地場産品助成は、イチゴだけなのか。

山田議員

- ① 財政赤字について。
- ② 海上交通に対し、利便性は良いが、料金が非

常に高い。その辺りをどう考えているのか。

- ③ 観光客を増加させるためどう誘客するのか。
- ④ 「住民や観光客が親しみの持てる港づくり」東港、大部港は全く利用されていないような状況であるが。
- ⑤ 「企業の誘致を促進する条例を制定して企業誘致に取り組む」とは具体的にどういう事か。
- ⑥ 中央病院の今までの累積赤字を、病院の看護師不足に対する対応に使用しないのか。
- ⑦ 「夢のあるまちづくり」今後の土庄町の生き方を今考えないと手遅れになるのでは。
- ⑧ 債権管理組織は、税をもう少し得るための施策が必要ではないか。

山崎議員

津波の危機に備えるため、地域の電柱に海抜表示を。

区分	議案の内容
条例関係	土庄町行政組織条例の一部を改正する条例
	土庄町長及び副町長の給与支給条例の一部を改正する条例
	土庄町教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
	土庄町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
	土庄町職員等の旅費支給条例の一部を改正する条例
	土庄町税条例の一部を改正する条例
	土庄町公民館使用料条例の一部を改正する条例
	土庄町介護保険条例の一部を改正する条例
	土庄町国民健康保険土庄中央病院使用料、手数料条例の一部を改正する条例
	土庄町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
	土庄町総合計画策定条例
	土庄町職員の自己啓発等休業に関する条例
	土庄町アクティブ大鐸の設置及び管理に関する条例
その他	土庄町企業誘致条例
	土庄町水道事業の剰余金の処分等に関する条例
	土庄町病院事業の剰余金の処分等に関する条例
人事案件	土庄町辺地に係る総合整備計画について
	瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定の変更について
人事案件	工事請負契約の変更について（大部公民館建設事業）
	人権擁護委員候補者の推薦について（田淵晃代氏）
議案	土庄町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆主な条例の内容◆

債権管理室を設置
滞納債権の管理、整理、回収等を一元化、集中化することにより体制強化を図る

土庄町長及び副町長・教育長の給与を平成24年度も自主減額を行う

学生の入湯税の課税免除規定の見直し

介護保険の基準所得金額等の変更を行う

土庄中央病院への持ち込み電気器具の電気料を無料化

土庄町企業誘致条例制定
土庄町内に企業を誘致することにより、雇用機会の拡大及び地域経済の発展を図る

◆工事請負契約の変更◆

大部公民館建設事業 建

築主体工事請負変更契約
変更後請負金額
87,635,100円

香川県小豆郡土庄町淵崎
甲1338番地2
株式会社 西崎組
代表取締役 西崎 博史

◆人事案件◆

人権擁護委員候補者の推薦

田淵 晃代氏 同意

平成24年度予算等に対する主な事項別質問(委員会付託)

総務課

泊議員 超高速ブロードバンド整備促進事業の実施場所は。

総務課長補佐 24年度の

1期工事は土庄、淵崎、大鐸、四海を実施。沖の島は、2期工事で検討、実施する。

泊議員 消防操法大会の経費はどの程度か。

消防防災課 出勤報酬と旅費で約200万円。

上川議員 ハザードマップの予定は。

総務課長補佐 23年度が土庄・淵崎、24年度が四海で、順次、全世帯に配布する。

農林水産課

佐々木議員 新規事業の青年就農給付金事業について、力を入れて実施して欲しい。

山田議員 農業集落排水事業へ一般会計からの繰出金について、なぜ毎年損失がでるようになったのか。

農林水産課長 伝法川水系の水をきれいに保つためのモデル事業として実施したが、当初の計画から変更をせざるを得ない事情があり、そのため経費が余分にかかるようになった。

商工観光課

山田議員 土庄町企業誘致条例の助成対象条件は、考慮する必要があるのでは。

人権対策課

藤本議員 集会所の委託費の規模と完成年度は。

人権対策課長 100㎡程度で、設計後、着工し、単年度で完成予定である。

藤本議員 大部地区の計画はないのか。

人権対策課長 大部地区まちづくり協議会設立總會の中で、今後の予定を考える。

福本議員 人権対策推進費の扶助費の自動車免許取得助成等の申請は、どれが、どれくらいあるか。

人権対策課 自動車免許取得助成と葬祭給付金以外の申請はなく、例年2〜3件程度である。

福祉課

三枝議員 社会福祉協議会への補助金は毎年同程度か、減額される見込み

はないのか。

福祉課長 人件費にかかると運営が難しいため、当面は維持する予定である。

太田議員 福祉バス運行事業について、座席が空いていても地域外の方を乗せることは出来ないのか。

福祉課長補佐 対象者を路線バスの運行していないところに限っているため、今のところ乗せることは出来ない。

川本議員 新規事業の重度障害児島外通院費補助金の利用者への補助率はいくらか。

福祉課長補佐 非課税世帯は2分の1、課税世帯は3割で調整している。

福本議員 「財政安定化基金は、全額取り崩して住民負担の軽減に充てるのか。

福祉課長 全額は取り崩さないが、町に配分された分は全額保険料の軽減に充てる。

福本議員 平成24年度からの介護保険料について、「土庄町の基準額が月額4,700円に上がる理由は。

福祉課長 24年度から3か年の介護保険事業計画を策定し、介護給付費の財源として法定負担率に基づき保険料を算出している。特別養護老人ホームの増床や居宅サービスの利用者増、第1号被保険者保険料の負担割合増などの要因により保険料が増額となっている。

住民環境課

濱中議員 合併浄化槽設置補助事業で設置数が増えた場合はどうするのか。

住民環境課長 国・県の補助金内での予定数であり国・県から追加内示がない限り増額は難しい。

三枝議員 交通安全施設整備は、額を抑えているのか、また、塵芥処理費用中の臨時職員の人数は。

住民環境課長 交通安全施設整備は、現在の予算で年間執行できている。また、臨時職員数は、全員で10名である。

川本議員 灘山地区の一般廃棄物処理施設整備事業の地元自治会の交渉状況は。

住民環境課長 地元からの反対運動はないが条件内容で合意に至っていない。

健康増進課

濱中議員 離島救急輸送事業における瀬戸・高松定住自立圏の救急艇負担金について、対象者は町民に限定されるのか。

健康増進課長 医師の診断に基づき町内の医療機関から搬送する際に活用するものであり、町民に限定されるものではない。

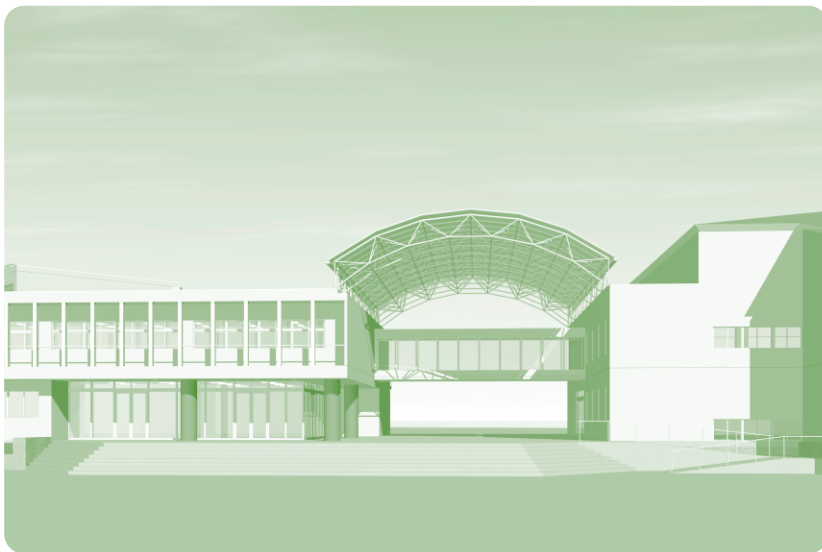
教育総務課

濱中議員 放課後子ども教室をもう一度詰め、実施設計の中で教室を取るのか取らないのか話をしてみたい。

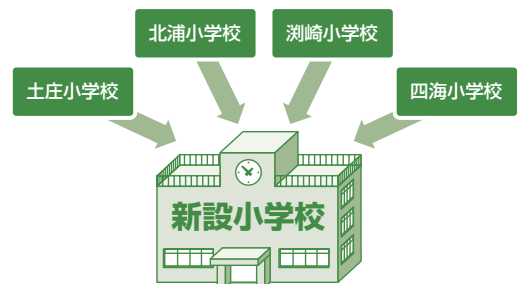
教育総務課長 学校建設なので放課後子ども教室については、対象外と考えている。

藤本議員 新設小学校建設事業の用地造成工事は、埋め立てを含めた金額なのか。

教育総務課長 埋立地の中学校側のコンクリート塊の撤去、それからアパート6棟の取り壊し、塩田に残っている水路の石積み等の撤去、給食センター横の水路の蓋かけ、教員用通路の舗装工事、また残りの土の受入工事が主なものである。



新設小学校正面アプローチ（イメージ）



生涯学習課

太田議員 大部公民館の太陽光発電設置工事の補助金については。

副町長 過疎債の関係で24年度計上した。

生涯学習課長補佐 補助金は、太陽光発電と蓄電池を含めた補助制度となる情報があり、現在模索中である。

濱中議員 放課後子ども教室を新小学校の中に作ってはどうかとの意見があるが。

教育長 放課後子ども教室という施設は、学校教育と学校施設とは別の話であり、本来、学校とは別問題であり、地域の中で子どもを育てることが趣旨である。

福本議員 放課後子ども教室事業について、児童館での対応など横のつながりを持ち、知恵を出して欲しい。

中央病院

濱中議員 収益的収入17億3,500万円、収益的支出19億8,200万円、2億5,000万円の赤字予算の説明を受けたが、この赤字部分はどうなるのか。

事務長 23年度の利益積立金、利益剰余金を取り崩し、その残りが赤字部分として欠損金で1億413万6千円残っている。

福本議員 電子カルテのサーバーはどのくらい使用可能なのか。

事務長 更新時期が5年程度で、使用頻度により違ってくる。

水道事業特別委員会

(2月1日・2月29日閉会中)

◆2月1日

1月18・19日の行政視察も踏まえて、肥土山浄水場の更新計画に伴う、排水処理方法の比較検討と配水池構造形式の比較検討を行った。

【質疑応答】

《問》汚泥処理施設について、わが町の汚泥の量から考え、もう少し小さくしてコストを抑えられないのか。また、実施設計の進捗状況はどうなのか。

《答》測量は完了し、排水処理施設と配水池の設計は、現在中止している。

委員会として

浄水場設備は、専門的であり、一度専門家に説明をいただきたい。今のまま進めることに対しては、再考した方が良くのではない

かという意見が多数であった。

香川県の水道の広域化

県では、平成23年8月に県内全ての市町長と知事とで構成する香川県水道広域化協議会を設置し、広域化の基本方針や広域水道事業の運営母体に関する構想など協議検討が行われている。

県内水道の広域化には、経営基盤の強化や業務の効率化、危機管理体制の整備を図る上で重要な施策であり、最終的には平成30年度に県内一水道にしようというところで、進めている状況である。

◆2月29日

入札方法、設計本体内事に関し、余りにもコストがかかりすぎているのではないかという事で、委員会の総意として実施設計の一時中止の申し入れをした。

肥土山浄水場実施設計の進捗及び出来高について

2月8日時点、全体としては、81・69%の出来高である。

委員会より

今の設計の進捗状況から考えて、審査だけが未完了のものは、完了させ、数量計算が未完了のものは、再度どのような施設がいいのかを協議しながら進めていく。

新小学校調査特別委員会

(2月1日閉会中)

『新小学校建設予定地の埋立て状況』

現在、今年度の中で3分の2が終わった状況で、今後は、グラウンドの高が上がっているの

で、良質な土砂を搬入したい。最終的には4,000㎡くらいは表土になるので、購入土を考えているが、来年度は18,000㎡を県の工事から受け入れをする。

新設小学校建設の年度毎スケジュール

23年度

基本設計を策定中。

24年度

中学校の校内通路の舗装、給食センター横の児童進入路横の水路の蓋掛け工事、校舎の建設予定地の竹藪等の伐採や整地工事、18,000㎡の土砂の搬入と基本設計を

て、雨水を集めて排水する設備を考えている。

《問》平成24年度の実施設計にはどういう業者が入っているのか。

《答》入札で決定するのでどこになるかわからない。

《問》中学校を参考にしている事はあるのか。

《答》便所の数を多くしている。また、各階に身体障害者などに対応できるように多目的便所を設けている。

《答》中学校では、廊下や各教室の腰板、木製建具などに地元の木を利用しているの、参考にし、今後検討したい。

踏まえた実施設計を4月発注予定。

25年度

全体の工事を発注し、校舎・体育館・プールの建設と共にグラウンド整備、周辺の護岸工事、緑地などの整備。

26年度

11月末の完成を目指す。完成すると、開校までの間、町民へのお披露目とか各小学校合同の交流イベントなどを計画したい。

【質疑応答】

《問》埋立ての表土としての厚さはどのくらいか。

《答》30cmを計画している。

《問》グラウンドの排水はどう考えているのか。

《答》暗渠排水といっ

病院再編調査特別委員会

(1月13日・3月2日開会中)

◆1月13日

「住民の方からの病院再編についての意見募集」についてと各課課長が提出した意見の内容説明があった。

【質疑応答】

《問》岡山大学とのつながりはどうなるのか。

《答》再編成する病院でも派遣をお願いしていく。

《問》各病院の負債については。

《答》それぞれの町で解決していく。

《問》住民は反対の方が多い。統合でやるとなればいろんなところで説得していかなければならない。プロジェクトチーム・マスタープランはいつまでか。

《答》プロジェクトチ

ームは、出来ている。

再生計画には条件があり、①病床数を減らす事。②補助はつけるが、26年の3月31日までに着工する事。

候補地としては、具体的に決まっていはいない。過去、町村合併の問題もあり、慎重に対処したい。

委員より

・統合したからといっても医師の確保ができる訳ではない。
・新しい先生が来られた場合はいろいろ感謝を表さないといけない。町民全体が受け入れる体制は必要である。

・過疎の地域は特に医師が不足していて大変な状況であるが、医師がいて当たり前、診てもらおうのが当たり前になっていく。やはり病院の現状をもっともっと周知してもいいのではないか。

◆3月2日

2月11日開催の「第2回小豆島の福祉と医療をよくする島民会議」の内容報告。

○臨時特例交付金

小豆医療圏の公立病院再編で、25億円が配分される予定。

○地域活性化総合特区

香川県が提案した「かがわ医療福祉総合特区」が国の指定を受け、小豆島をはじめとする島嶼部の課題解決のために、福祉、遠隔医療、救急医療の分野に分けて様々な施策、事業を盛り込んでいく。規制緩和や財政支援措置は、今後国の関係省庁と協議する。

○県より

病院再編は、基本的には県の計画にそった形になるが、地元の検討次第で内容が変わる事が想定され、地元としてどのような病院にしたいのか議論する必要がある。

期限を限られた事業のため、両町が再編に向けてスムーズに事務処理を

行えるよう、再編準備室を4月1日に小豆総合事務所に設置予定である。

【質疑応答】

《問》場所や経営形態をどのようにするのか。

《答》場所は、まだ決まっていらない。経営形態等は、有識者会議において今後、検討する予定である。

委員会より

統合については、反対意見が1名、他の6名の委員は、賛成の意見であった。

建設場所問題は、陸上交通、派遣医師や豊島住民の海上交通、教育環境、医師住宅、経営を考慮すると人口の密集地、災害時における耐震岸壁の整備、町有地であり負担の少ない場所を考慮すると、東洋紡績跡地を含めた町内が望ましいとの意見があったが、統合が先であり、場所は2町間で決めることになるため、十分に話をしてもらいたい。

観光振興特別委員会を設置

観光立町として観光客の増加を図る観点から様々な考察をし、個人的で魅力ある観光地としてのあり方等の調査、研究を行うため、本特別委員会を設置しました。

- 委員長 三枝邦彦
- 副委員長 山田建之
- 委員 濱中幸三
- 佐々木邦久
- 川本貴也
- 泊 満夫
- 山本良照



香川県町村議会 議長会自治功労賞

2月17日、香川県町村議会議長会第63回総会において、太田和博議員が香川県町村議会議長会自治功労賞を受賞されました。

また、併せて本町議会が優良町村議会として、全国町村議会議長会表彰を受賞しました。





濱中幸三 議員

景観条例の重点地区

濱中 景観条例に「町長は、重点地区において地域の個性及び特色を踏まえ、当該地区の景観形成に必要な次に掲げる事項を景観計画において定めることができる。」とあるが、どのように定めているのか。また唐櫃岡の豊島美術館や棚田は重点地区に含まれているのか。

建設課長 重点地区については町内8箇所を定めている。唐櫃岡周辺には豊島美術館や棚田を含んでいる。田園・農村景観を保全し、現代アートと豊島美術館等との連携を図り、調和のとれた集落景観づくりを目指す。

債権管理室の業務

濱中 平成23年3月末の滞納債権の金額及び件数並びに一件当たりの最高滞納金額、22年度に不納欠損処理をした金額と件数及び一件当たりの最高不納欠損額並びにその理由、債権管理室の業務の執行方針及び作業手順、並びに多額の債権回収にあたる心がまえについてお尋ねする。

税務課長 平成22年度決算書では、滞納総額で5億5千18万円で達しており、うち町税が4億1千7百41万円で全体の75.9%、次いで水道使用料・診療費・介護保険料・その他の債権となっている。欠損処理は、納税相談・調査を行い、納付困難と認定した町税374件1千9百70万円・国保税144件9百98万円・介護保険料39件1百13万円を欠損処理している。債権管理室は、各課の情報の一元化を行い、全庁的に公平かつ統一的な

債権管理体制を構築し、担当課で対処しきれなかったものについて、債権管理委員会に諮り、町として法的整理を行うものである。

施政方針大綱について

濱中 「土庄町企業誘致条例」は島外から企業を誘致することよりも、島内の起業を支援するほうがより現実的だと思う。

町道の舗装修繕工事の予算が750万円では、全く足りない。予算の増額をお願いしたい。

商工観光課長 町内・町外も含めての企業や事業者、新しく事業を起こす方にも少しでも利用しやすいようなよう、条件面などについて今後も検討していきたい。

建設課長 財政上の問題もあり、自治会からの要望箇所の一部しか執行できないのが現状である。



泊 満夫 議員

小豆島に美術館の設置を

泊 次代を担う美術愛好家のための美術館を設置し、全国に発信し、特に大学生を中心にアトリエも含めた展示場を作ることが、交流人口を増やす一つの方策として考えるが。

生涯学習課長 町内にある既存の美術館を利用して、活動、交流の拠点として町の方策を考えるのも一つの方法かと思うが、わが町には、多くの芸術愛好家や大学生が訪れるような全国的に名の通った芸術家は極めて少なく、また著名な作品も収蔵していない。大学生を中心に新たな年齢層を小豆島に取り込むことは、今後どのようなアプローチの仕方があるのか

を考えた。国際観光地としての地位の確立を

泊 春秋航空の増便就航とともに、小豆島への特に中国の観光客の誘致を積極的に営業してはどうか。

商工観光課長 中国の観光客誘致の絶好の機会と捉え、中国への観光誘致PRが一層必要であると認識している。24年度事業で、中国語をはじめとする外国人観光客向けのパンフレットの作成、案内板の設置を予定している。小豆島の良さを大手旅行社へ大いにアピールすることも、積極的に推進する必要があると考えている。

また、香川県等へのヒアリングを進め、中国領事館への表敬訪問なども土庄町として参加できる事業には積極的に推進していくべきではないかと考えている。今後も観光振興を最重要課題のひとつとして、努力をしていく。

町長 観光振興特別委員会の皆さんとも、どういふ行動が一番春秋航空のお客を誘致する最大の道か、最短の道かという事も探りながら、働きかけていきたい。

職員のお客様対応の向上と危機管理の徹底を

泊 窓口に来るお客様の対応について、今一度これでもいいのか、その接客方法、態度を見直す必要があると思うがどうか。

企画課長 職員の意識改革とスキルアップを目指し、職員一人ひとりが住民目線を取り入れた業務改善、住民対応の向上や風通しのよい職場風土づくりに積極的に取り組む。



川口幸路 議員

「新たな自主財源の創出を」
 川口 わが町独自の生き残りをかけ、自主財源の創出のために、どのような方策をお考えか。
企画課長 自主財源の確保は、第1に交流人口や流入人口の増加、第2に、公平公正の原則である受益者負担の原則に基づく自主財源の確保、第3に町有財産等の利用見直しによる売却、貸し付けなど、第4に地域ブランド（オンラインワン）を目指し、新たな観光ルート創出に繋がるよう町として消費拡大とPR活動を推進する。
外向きの施策、内向きの施策、両輪で推進しながら自主財源の確保、特に島外からの外貨（島外からのお金）の獲得に重

点をおいた財源確保に鋭意努力して参りたい。

川口 財政状況は、平成30年には形式収支も約3億の赤字になる見通しだが、赤字にならないような具体的な方策を。

町長 皆さん方が住んでみたい島、訪ねてみたい島をつくるのがわが島の、またわが町の一番大きな目標であり、念願である。

小豆島の観光、土庄の観光のネックは何か。それが解消しないと大量のお客さんは来ないという事は、大きな宿題と思っている。

そういう意味で観光振興特別委員会の設置。その中で、いろいろ皆さん方の知恵を集めて土庄町としての形がいいか議論しながらこの解決に頑張っていきたい。

安全対策、耐震化の問題などを補つための自主財源は、交流人口の増加しかないと思っている。
 本来に小豆島に、土庄町に来て泊まっていき



い、泊まりたいというお客さんが増えるよう、旅館の皆さん方もいろいろ協議しながら頑張っていきたい。

3月定例会 一般質問事項



佐々木邦久 議員

農業振興計画の骨子は
 佐々木 今後の土庄町の農業はどうなるのか。地域の活性と環境保全について考え方を聞きたい。
農林水産課課長 平成24年度から国は、地域のひとと農地の問題の解決にむけた「地域農業マスタープラン」作成事業を開始する。この事業には、新規就農者、農地集積等への助成が盛り込まれている。町はこの事業を活用し、農業の振興を図っていききたい。
佐々木 元気を出す方法として、産直市をJAと一緒にやって十分相談してやっていただきたい。
町長 産直市の活性化は、前向きに検討し、野菜市場であるとか、島の

いろいろなみかん等々を含めた産直市を振興させたい。

観光資源発掘への取り組みは

佐々木 ① 蛙子池周辺の1000本桜の今後は。
 ② 瀬戸内国際芸術祭への町の取り組みは。
 ③ 小豆島へ旅すると「あの食べ物だけは食べたい」という食材の開発は。

光客誘致にも努力したい。

町長 ① 銚子溪から蛙子池、蛙子池の周辺道路、新池を含めると約4キロで、格好のハイキングコースと思われる。今後、わがまちの大きな目玉として、振興していきたい。

② ゆっくり鑑賞する芸術祭を目指し、見学コースの設定が急がれる。また農村歌舞伎等についても、実行委員会主催で何かお願いする。財源等も要望したい。
 ③ 現時点で新しくはオリーブ牛と聞いている。島へいったら「オリーブ牛を食べよう」「素麺を食べよう」という食の地域ブランドをもっとPRすることも、交流人口増加のひとつの道と聞いている。

り組みたい。また、海上交通及び島内交通に関する対策も講じたい。
 ③ JA・漁業組合・農林水産課等と共同で研究していく必要がある。関係者の協力を得ながら観



山崎勝義 議員

新小学校に放課後子ども教室を

設けていたが、放課後子ども教室は生涯学習課の所管であることから生涯学習課と協議し、現段階では新設小学校の中には学童保育の部屋は計画していません。

生涯学習課長 土庄・淵崎・四海の3小学校区に4教室放課後子ども教室を設けている。スタッフとして放課後子ども教室全般の企画運営にたずさわ

山崎 昨年10月31日新小学校調査特別委員会で示された、1階平面図に学童保育室が計画されていたが、今年2月1日の委員会に提出された平面図では、トイレ、更衣室、用務員室等に変更されていたが、計画を元にもどす考えはあるのか。24年度の放課後子ども教室の希望者が土庄小学校では76名、淵崎小学校では93名が希望している。この子ども達に安全で心安らぐ教室、父母が安心してあずけられる教室を継続するため、どのように考えているのか。

教育総務課長 昨年10月の特別委員会の資料には1階に学童保育の部屋を

3月定例会 一般質問事項

法をお願いしたい。

生涯学習課長 現時点では、今の場所を継続していききたい。

山崎 耐震化が出来ていない。旧土庄小学校、淵崎の旧図書館を耐震化するのか。南海地震、東南海地震などが起きるだろうという時に、これを見越して、そのまま実施するのか。

土庄町が放課後子ども教室に力を入れていくか、ご理解をお願いしたい。

山崎 土庄町が一生懸命に頑張つて継続していくという事は良かったが、新小学校から、各地区へ帰るが、土庄小学校の空き部屋、淵崎の旧図書館で子ども教室をするのであれば、子どもは安全で次の放課後教室に行く方



福本耕太 議員

教育委員会の姿勢について

福本 今年1月、町教委は豊島地区に対し「4月から、豊島小学校の教員を一人減らす。複式にする。」と説明。地元では「協議の時間もない」と不安と怒りの声があがっている。どんな理由であれ住民の思いを無視して、強制することは民主主義に反する行為であり許されない。本年度は町費で教員を雇用し、元の教員数を確保した上で、地元住民と協議を継続すべきだ。

教育長 町全体の配置をにらみ教員配置、人事をすすめている。

介護保険料の値上げに反対。町として対策を打て

福本 この度の改定による町民負担増は、平均4,700円。年金が減り、更に負担増では、町民のくらしも、介護保険会計の未来も閉ざされる。地域経済を守り、制度の健全化を図るため、次の4点を同時に進めるよう提案する。

- ①基金を取り崩し、一般会計からの繰り入れで保険料値上げを抑制せよ
- ②県に繰り入れ助成を求めよ
- ③国庫負担率の引き上げを求めよ
- ④社保審議会介護部会委員の高松市長と全国町村会長に、国へ進言するよう要請せよ。

岡田町長 全国町村会長とは話をする。

乳幼児医療費無料化の年齢引き上げについて

福本 6月議会で中卒までの医療費無料化を求めた私の質問に、町は「重要な役割を果たす」と答弁した。それが本心なら、前進の第一歩目として、中卒まで入院費を無料化せよ。過去5年間、年度

ごとに就学後から中卒までにかかった医療費は。福祉課長 医療費については、データがない。試算は450万円。

福本（丸亀市の試算方法を示し）先進地域に学び試算せよ。年齢が上れば、かかる費用は減るはず。450万もかからない。例えば450万円でも「子どもは、町の宝」決して高い予算額ではない。来年度補正での実施を求めよ。

岡田町長 先進地域の研究はするが本年度は無理と思う。

空き家バンク登録物件のリフォーム助成について

福本 移住促進と住民の安全確保、地域経済活性化が一体的に実現できる。小豆島町での経験を参考に実施せよ。

企画課長 新規事業に予算はさけない。



川本貴也 議員

四海公民館を今後どうするの

川本 四海公民館は、大変重要な機能を果たしている公民館であるが、地域の避難場所にもなっているものの、建物の老朽化が進んでいる。一日も早く公民館の建替えをという意見が出されている。

何より有事の際に、避難場所として機能できる公民館に建て替える事が、地元住民の不安をなくし、安心安全なまちづくりになるのではないかと。

生涯学習課長 昨年の東日本大震災以後、学校、公民館など避難場所に指定されているところは、地震、津波、高潮に対する安全性が求められている。四海公民館の今後は、津波の見直しなどの動向

を勘案するとともに、今後は四海地区の意向、ニーズを勘案しながら、教育委員会において十分に検討させていただきたい。

川本 小学校跡地利用で、大部や大鐸は、比較的公民館、小学校がほぼ近くにあるのでそのようにな形になったと思うが、四海地区は、公民館と小学校の距離がかなりあるし、四海地区の中心となる立地に公民館が建設されているので、利便性も考えて跡地利用と切り離して考えるべきだと思う。また、現在四海地区の避難所のうち、町が管理者となっている施設で、耐震基準をクリアしているのが四海小学校の体育館のみだということも聞いています。そのような中、早急に計画だけでも決定する必要があると思うが。

生涯学習課長 四海公民館の雨漏りを早急に直して欲しいという要望は24年度に取り組む。

また耐震診断が実施できていないので、今後の検討課題としたい。

川本 耐震診断すらしていない。これで安心で安全なまちづくりにつながるのか。また跡地利用についても、四海小学校は統合が決定している。出来れば本年度中にも、四海公民館をどうするか、耐震化するのか、また建て替えるのか、早急に決定すべきだと思う。また、町側からも地元の方にどうするべきか各自治会長と各関係機関に呼びかけて早急に協議するべきではないかと。

教育長 社会教育、生涯学習の拠点であると同時に、土庄町の行政の出先場所とまた災害等に対応する拠点ということも耐震的に問題がある点について早急に町長部局と相談しながら検討させていただきたい。

観光産業の位置付け(重要性)および振興施策は

山田 土庄町における観光産業が占める経済的役割は町全体の大体何%になるのか。従事する人口は町民の何%なのか。平成16年から19年5月頃まで観光再生特別委員会が設置されていたが、同委員会でフェリー運賃問題でどのような議論がされたのか、どのように処理されたのか、また、その後の対策は。観光振興策として最後の手段として、フェリーの公設民営の検討が必要不可欠と思われるが。

商工観光課長 企業統計調査によると、町内の全就業者数の中で宿泊業・飲食業・サービス業をあわせた割合は全体の約3割という結果が出ています。町内の全就業者数の約5割程度は何らかの形で、観光関連産業に携わっているのではないかと推測される。観光再生特別委員会の中で小豆島航路に関係する6社の方々をお呼びし、懇談会形式で意見交換している。

委員会としては、「行政、観光協会、民間それぞれおごり高ぶりがある。それぞれ指摘されることは多い、仕組みが一つになった時点で組織、方法を変えなければならぬ。それが観光の発展につながる」と結んでいる。



山田建之 議員

後、調査・研究をし、検討協議していきたい。

肥土山浄水場更新工事に伴う基本設計、実施設計の業務委託契約の発注について

山田 肥土山浄水場更新工事に伴う業務委託について、入札の制度、チェック体制が全くとできていないのではないかと。

水道課長 事務手続は法令等に基づき適正に執行していると考えているが、今後、見積業者数や指名業者選定の過程において、実績等を考慮した業者選定を行いたい。今後も肥土山浄水場更新工事の汚泥処理方法を含めた、工事計画の見直しを水道事業特別委員会で継続審議していただきながら工事費を出来るだけ低く抑さえ、最善の工事が実施できるよう努力したい。

小豆島のハンディである海上問題を取り組む中で、国が高速道路の割引制度を導入して、結果的に、いろいろな影響が出ている。我々にとつての生命線である海上交通の重要性を、強く織り込んだ政策の推進を要望したい。

フェリーの公設民営化への検討については、今

議員発議による臨時会が開かれました

平成24年4月6日に4月臨時会が開催され、次の議案がそれぞれ可決されました。

- ◆発議第1号 東日本大震災で生じた災害廃棄物の広域処理の推進等に関する意見書
- ◆発議第2号 東日本大震災で発生した災害廃棄物の受け入れに関する決議
- ◆発議第3号 上川正衛議長の不信任決議案
- ◆発議第4号 藤本誠助副議長の不信任決議案

同日、正・副議長より辞職願が提出・受理され、新しく議長・副議長が選出されました。

井上正清氏 土庄町議会 副議長



この度、4月臨時会において議員皆さまのご推挙により、副議長の要職に就任させていただきましたことになりました。大変名誉なことであり感激いたしているところです。

同時に責任の重さを痛感し、議会が円滑・円満に運営されるよう、議長を補佐し誠心誠意努める所存でございます。

土庄町は極めて厳しい財政状況であります。課題が山積みされている

時期でもありません。推進中の事業はもとより、進行するわが町の少子高齢化社会での子育て支援、福祉・医療支援、農林・水産業を始め、観光産業を中心とした産業振興対策に全力で取り組み、未来を担う若者たちが夢と希望を持って活動できる、活力ある町づくりを目指します。

また町議会が、議員の皆さまのご協力を得て、住民の皆さまの意思を反

映した議会を目指し、町当局との行政運営が一体となり推進できる体制に向けて、三枝議長のご指導とご助言をいただきながら、その職責を全うするよう最大の努力を致したいと念願している次第でございます。

もとより浅学非才な私ですが、住民の皆さまの温かいご理解と、ご指導、ご支援を心からお願ひ申し上げまして、就任のご挨拶といたします。

三枝邦彦氏 土庄町議会 議長



この度、議員の皆さまのご推挙により、議会議長を拝命させていただきました。

私は、常々議長とは、議会の円滑な運営と議員の皆様の名代であり、また、代弁者として各方面との調整を行うことが責務だと考えております。

議員の中では若輩者でございますので、至らぬ点多々あるかと思いますが、皆さまの力をお借

りして議長の本責を果たして参る所存でございます。

現在わが町は、少子高齢化が進み、人口も1万5千人を切り、財政は極めて厳しい状況です。

財源の確保、産業振興はもとより、小豆島町との間では、病院・高等学校の合併問題、広域消防署の建設及び場所の問題など、また町単独では、上水道の整備・新小学校

の建設・し尿処理「3処理」の問題等が山積しております。

議員の皆様と一緒に町民の皆さまのご意見を反映させながら、取り組んで参りたいと思っております。

町民の皆さまにはご理解、ご指導とご支援を町議会に賜りますようお願い申し上げます、議長就任のご挨拶といたします。

上川正衛議長の不信任決議案(要約)

【理 由】

1 最大の問題である土庄中央病院と内海病院との統合病院建設(病院再編)問題に対し、統合病院建設場所選定について、町議会に一度も説明もなく、3月23日の全員協議会で、突然、小豆島町池田に決定したので了承して欲しいという話があった。議長の当該行為は、議会軽視以外何ものでもない。このような行為は、土庄町議会議長として信任に値しないものである。

2 土庄町が平成30年度には約3億円の財政赤字になるとの予測が総務建設常任委員会で公表され、今後、土庄町は財政再生(財政赤字を避けること)に向けて最大の努力をしなければいけない時期であるが、議長はその認識が著しく欠如しており、土庄町議会議長として信任に値しないものである。

【反対討論】

山本議員 不信任案反対。

福本議員 場所の問題は、私以外の委員全員が、「町長に委任する」という事で納得しております。

2つ目の理由は、提案者の主観であり不信任の理由になっていない。議会議長職の尊厳を自ら下げたものであり、不信任には相応しい。

佐々木議員 14人が協力し議長を盛り立てていくのが筋ではないか。悪い事をした訳でなく、一生懸命やっている。

【賛成討論】

川口議員 賛成。

泊議員 外貨を稼ぐのが第一ではないか。そのために観光産業を活発にする。財政赤字にブレーキを踏む。我々自身も反省しつつ、改めて出発をしなければならぬ。

なくしてはならない。

川本議員 病院問題に対し、議会全員への情報の開示、十分な協議を何度もお願ひしていたが、いきなりの発表。全員に対する説明不足。その後も

改善がない。

藤本誠助副議長の不信任決議案(要約)

【理 由】

上川正衛議長の不信任決議案の理由1・2に同じ。

議長を補佐する立場にある副議長としての責務がなされていないと判断される。このような行為は、土庄町議会議長として信任に値しないものである。

【質 疑】

濱中議員 財政再生について具体的に何が著しく欠如しているのか。

山田議員 観光振興について協議をし、海上交通問題で公設民営化が一番効果があるのではないかという事で提案をした。

総数11票、有効投票中、賛成8票、反対3票



税金を上げる方向に使用したいという感覚で述べたが反対された。また、がれき受け入れも反対だと思つ。リーダーとして財政再生に向けもつと考えるべき。

【反対討論】

上川議員 職務を全うしているので反対。

【賛成討論】

川口議員 提案理由に賛同できるので賛成。

総数11票、有効投票中、賛成8票、反対3票



東日本大震災で生じた災害廃棄物の広域処理の推進等に関する意見書(要約)



東日本大震災から一年が経過し、被災地の復興はすべての国民の願いであるが、その最大の障害になっているのが災害廃棄物の処理である。災害廃棄物の処理は、東北復興の第一義的課題であり、一刻も早くその処理を進めることが必要である。

今、必要なのは、災害廃棄物の処理に協力できるように国としてしっかりとした政策を打ち出すことである。今後はその受け入れ基準や処理方法を定め、国の責任を明確にした上で、速やかに公表し、この問題に対する地域住民の理解と納得を十分に得ることが求められる。

よって、下記の事項について特段の配慮を講じられるよう強く要望する。

意見書は関係大臣に提出しました。

東日本大震災で発生した災害廃棄物の受け入れに関する決議(要約)

賛成11・反対2



平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、世界最大級の地震が発生し、東日本の太平洋沿岸を襲った大津波によって甚大な被害をもたらした。

わが町でも緊急消防援助隊や職員の派遣、義援金や救済物資の受付・搬送などの支援を行ってきた。しかし、いまだに膨大な量の災害廃棄物が処理されずに積み上げられている。被災地の1日も早い復旧・復興のために、災害廃棄物の処理が求められるところであるが、放射能汚染に対する懸念等から、災害廃棄物受け入れには、国民の間でも賛否が分かれています。また、国からの要請ではあるが、判断材料が足りないのが現状である。

よって、東日本大震災において発生した災害廃棄物の受け入れに関し、本町議会は、本町に対し、国や香川県をはじめ関係機関と十分協議し、放射線量の測定等十分な体制を整え、住民の不安解消のため情報公開に努め、説明責任を果たすとともに、その上で本町として出来ることを積極的に行うことを要請する。

不可能なので、新設を考えたら思っている。

福本議員 放射線量の測定は、土庄町として行うのか、それとも国が行うのか。

提案者 山田議員 放射線量の測定は、当然国が行うべき。また、排出する市町村または県にも同様に測定してもらわなければならない。

【提案理由に対する質問】
濱中議員 国から要望があった岩手・宮城県の計4百万トンの一部を現有施設で受け入れることを目的としているのか、若しくは2千3百万トンの一部を受け入れようとしているのか。

提案者 山田議員 土庄町 町において十分協議をし、状況を審議をしたうえで決めたい。受け入れられるのであれば、できるだけ多く受け入れたい。数量は、分からない。現有施設では、受け入れ

い自然をもとにまちづくりを進めている。大量の廃棄物の受け入れに反対する。

福本議員 放射線量の測定は、土庄町として行うのか、それとも国が行うのか。

提案者 山田議員 放射線量の測定は、当然国が行うべき。また、排出する市町村または県にも同様に測定してもらわなければならない。

【反対討論】
福本議員 放射線の問題、風評被害への補償が明確でない段階で、議会として決議をあげてまで町に受け入れを求めるべきではない。

濱中議員 わが町は美しい自然をもとにまちづくりを進めている。大量の廃棄物の受け入れに反対する。

編集後記

春風の心地よい季節になりました。
ツバメが南から渡ってきて、軒下などに巣をつくり、夫婦仲良く子育てする姿は、何とも微笑ましい光景です。

ツバメと対照的なのが春に北へ帰って行く雁です。雁は、つがいになると一夫一婦を守り、一生離れることなく、家族の絆、群れの絆も大変強く、とても仲が良いそうです。

また、この季節旅立ちや門出に餞(はなむけ)という言葉をよく耳にします。

昔、旅立つ人の乗った馬の鼻の先を行き先へと向けて見送る習慣から(鼻向け)この言葉が出来たそうです。旅立つ人には、多少なりとも不安があるものですが、本当に進みたい道ならばきつと後押ししてくれるはず。自信を持って進みたい道に向かってください。

《和博記》

町議会を傍聴してみませんか

町の本会議は、公開されています。町政がどのように進められているかなど町議会の実際を知りたい方は、いつでも傍聴することができます。
次の町議会は、6月下旬頃から予定しています。
詳しくは、議会事務局(TEL70701)へお問い合わせください。

◆お詫びと訂正◆

前回の議会だより47号に誤りがありました。2ページ ◆伝法川防災溜池事業組合議会議員選出◆
誤 佐伯 達夫氏
正 佐伯 達也氏
3ページ 11月臨時会
で決まったこと
11月25日 平成23年度補正予算内訳の表中
誤 一般会計(縦打ち見出し)
正 特別会計
お詫びして訂正いたします。